

# 高度医療で地域を支える

当院は2024年、出血リスクの高い心房細動患者さんへの治療の一つである、経カテーテル左心耳閉鎖術の施設認証を得ました。詳細をご説明します。

## ■心房細動

心房細動とは心房(図1)が規則正しく収縮できず小刻みに震えることです。心房細動によって心房中の血液が流れるスピードが低下し血栓ができやすくなると言われています。また、血栓の多くが発生する場所と考えられているのが心房の「左心耳」と呼ばれる部位です(図2)。心房細動が原因でできる血栓の約9割が、左心耳の中でできていると言われています。

左心耳の中でできた血栓が血液に流されて血管に詰まると「塞栓症」という病気を引き起こし、脳の血管が詰まってしまつて「脳梗塞」という病気になります。発症した場合、重い障害(言語障害、身体まひなど)



やまなか あき 2005年、鳥取大学医学部卒、岡山大学で博士号取得。2018、2020年ドイツへ留学。20年からは津山中央病院勤務。心臓弁膜症治療部門長も務める。日本循環器学会専門医、日本CVT専門医、日本TAVI指導医。

## ⑧ 心房細動の最新治療

津山中央病院循環器内科部長

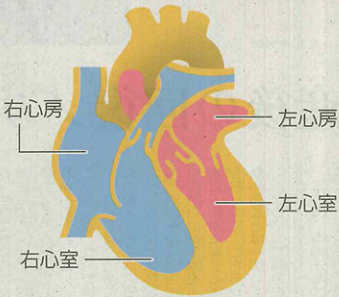
山中 俊明

どが残ったり、時には命にかかわる場合もあります。

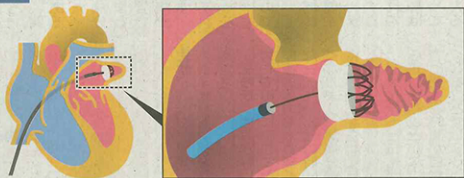
そのため、心房細動の患者さんには血栓ができるのを抑える治療が必要となることがあります。心房細動による塞栓症の予防には、血液固まりにくくし血液の流れを良くする薬(抗凝固薬)を服用します。この抗凝固薬は半面、出血傾向や出血などの発症率が上昇する場合があります。

■経カテーテル左心耳閉鎖術  
この出血リスクが上昇する患者さんに対して、抗凝固薬を使用せずに塞栓症を予防する手段として、WATCHMAN(ウオッチマン)というデバイスを用いて左

## 図1 心臓の4つの部屋



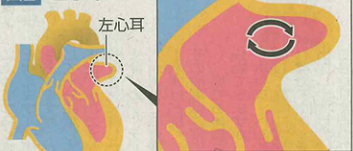
## 図3 WATCHMANの留置



この手術でも2024年6月からこの手術を開始し、現在8症例ですが全例成功しております。出血リスクのある75歳以上の心房細動の高齢患者さんは治療対象となります。引き続き、岡山県北地域の医療レベルが高水準に保たれるように日々精進していきます。今後ともより詳しくお願いたします。

津山中央病院 0866020811

## 図2 左心耳



左心耳周辺で血液が停滞する

心耳を閉鎖する治療を経カテーテル左心耳閉鎖術と言います。足の付け根の部分よりカテーテルを挿入し、WATCHMANデバイスを左心耳の入り口まで運び、埋め込むことで左心耳(血栓が形成されやすい部位)をふさぎます。これによって、左心耳の中に血栓ができにくくなります。図3.術後経過を見外來で抗凝固薬を中止して抗血栓剤の投与を開始するかどうかを判断します。

この手術により、左心耳からの塞栓症を予防し脳卒中の発症率が80%以上減少させると報告されています。また毎日の抗凝固薬の服用を中止する可能性があります。

この治療は長期的に抗凝固薬が勧められている患者さんのうち、①転倒に伴う外傷に対して治療を必要とする既往がある患者さん②抗血小板薬の併用が長期(1年以上)にわたって必要な患者さん③消化管出血などの大出血の既往を有する患者さんなど出血リスクが高い患者さんに検討される治療です。